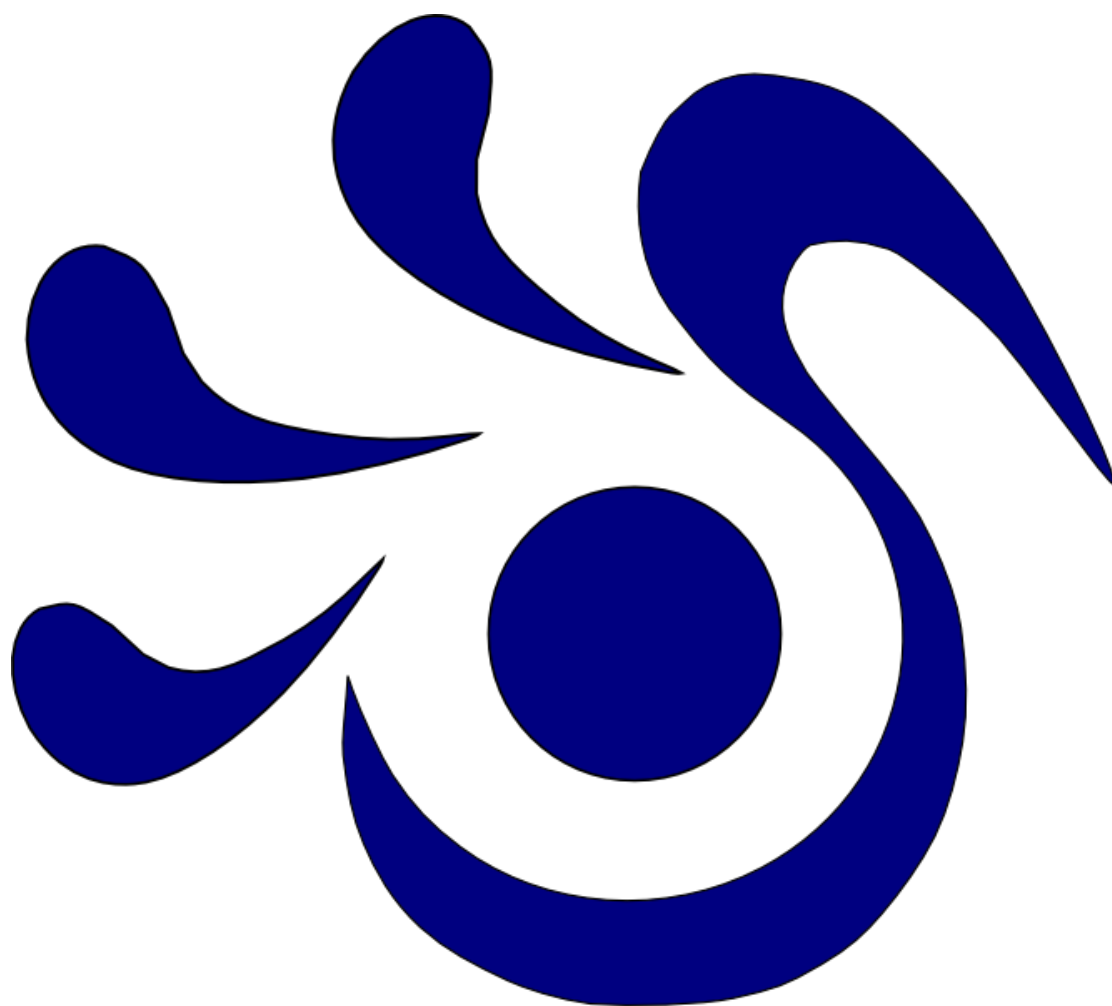


mizuma

河泉会 広報誌

第 30 号 / 2018 年 7 月



KASENKAI

発行：河泉会（大阪河崎リハビリテーション大学同窓会）

巻頭言

「言語聴覚士」



大阪河崎リハビリテーション大学
リハビリテーション学部 言語聴覚学専攻
助教 和田英嗣

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。今年度より大阪河崎リハビリテーション大学で教員として勤めています、大学2期生の和田英嗣と申します。

本学の言語聴覚学科は今年で13年目を迎えました、今年の3月に卒業しました9期生を合わせると9年間で157名の卒業生を送り出しています。また、言語聴覚士国家試験合格者は2018年3月で約3万1千人となっています。私が受験した2011年時点では約1万9千人でしたので、徐々に増えてきてはいますが、まだまだ不足しているのが現状です。

現在、言語聴覚士の73.8%は主に病院で勤務しており、私も本学を卒業後は病院に就職しました。私が勤務していた病院は急性期、回復期病棟を設置しており、脳神経外科、整形外科、内科、リハビリテーション科の4科が特徴的な地域に根ざした病院でした。その後、患者様が退院後はどのような生活を送られていて、何に困っているかを肌で感じたいと思うようになり、訪問看護ステーションに転職しました。在宅の現場では、病院のように医療環境が整っていませんので、様々な工夫をしなければなりません。また、患者様の生活環境はお一人お一人違います。障害の状況はもちろんです、生活環境に合わせて訓練目標の立案や環境整備を実施する必要があります。病院では、退院後の生活を見据えてリハビリテーションを行います、在宅では目の前の生活や家族への伝達などに直に関わることができるので、患者様の人生により深く寄り添えるリハビリテーションを実施できると感じました。

日本の高齢化社会に伴い、国は政策の一つとして医療保険から介護保険への円滑な移行をすすめており、在宅での生活を目指したリハビリテーションの必要性が益々高まっています。現在、言語聴覚士の多くは医療機関で勤めています、今後は通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションといった介護保険領域でも言語聴覚士が活躍する場はさらに拡大していくと思われます。言語聴覚士は女性が多い職場ですが、産前・産後休暇や育児休暇を活用したり、託児所を併設している施設も増えてきていることから、出産後も仕事を続けることが可能であり、復職率が高いのもこの職種の特徴です。

言語聴覚士の認知度は少しずつ上がってきていますが、その仕事内容や特徴までは十分浸透していません。本学の卒業生達が医療や在宅、教育の現場で活躍し、言語聴覚士がこの少子高齢化社会に大きく貢献できるよう力を注いでいきたいと思います。

平成30年度 会計報告

平成30年度収支決算総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日

科目	一般会計	特別積立金	会計
1. 収入の部			
会費収入	78,000	0	78,000
当期収入合計	78,000	0	78,000
前期繰越収支差額	4,243,954	0	4,243,954
収入合計(d)	4,243,954	0	4,243,954
2. 支出の部			
管理費	59,658	0	59,658
事業費	449,071	0	449,071
当期支出合計(e)	508,729	0	508,729
当期支出差額	-430,729	0	-430,729
次期繰越収支差額(d-e)	3,735,225	0	3,735,225

単位:円

平成30年3月31日
河泉会
会長 松田 洋平
会計 本道 大地

会計監査の結果、適正に処理
されていたことを認めます。

監事

森 健一郎
水野 貴子

平成30年度 予算案

会計期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:円)

1. 収支計算 (歳入の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会費				会費 2万×24年度の入会人数
2. 賛助会費				大阪河崎リハ大学広告費
3. 講演会参加費				
4. 繰越金				
合計				

(歳出の部)

1. 管理費	各委員雑費(101)	50,000			事務費:各部署
	理事会費(102)	60,000			会議費:年6回
2. 機関誌	機関紙代(201)	100,000			封入費:2回
	チラシ代(202)				同封案内印刷費:2回
3. 講演会	郵送代(203)	80,000			郵送代:2～3回
	講師代(301)	120,000			講師謝礼・交通費込み
4. 卒後教育 就職支援	資料代(302)	10,000			資料印刷代
	講師代(401)	120,000			スキルアップ/スキップ講座講師謝礼:1回
	資料代(402)	10,000			資料印刷代:1回
	泉華祭ブース代(403)	30,000			学園祭準備代
合計		580,000	0	580,000	

580,000 円の予算

平成30年3月17日

河泉会

会長 松田 洋平
会計 本道大地

河泉会 理事会 議事録

2018年2月

平成29年度 スキルアップ講座について

日時・講師・テーマ・会場の決定

平成29年度 総会について

平成29年3月17日(土) 11:00~12:00

機関紙について

平成29年度1月号完成 封入・郵送作業を行っていく

次年度の学術予定について

現在、講師を学術部で検討

泉華祭について

催し内容の検討

2018年4月

河泉会30年度活動予定について

内容:活動予定・予算案・理事会費・会議録・業務日誌

平成30年度 特別講演会について

講師の決定

機関紙について

記事内容の確認

広報活動について

学生との交流方法を検討

泉華祭について

催し内容の決定

2018年6月

平成30年度 特別講演会について

詳細、各役割の確認

機関紙について

記事内容の検討

広報活動について

学生との交流方法を検討

泉華祭について

催し内容を決定

消息不明者・異動届けについて

下記の方の連絡先が不明の為、郵送物等をお送りできない状態です。心当たりのある方は住所、連絡先、または勤務先をお知らせ下さい。

連絡先：事務委員 坪井 純子 kasenkaiobog@gmail.com まで

西川 吉昭	飯澤 宣尚	西 幸宏	小原 凡佳	畑 武典
北林 めぐみ	高尾 葉子	多和田 卓也	萬関 ひとみ	中尾 志郎
岸本 菜津美	橋本 直子	高内 健作	上山 翔太郎	竹中 智子
高野 千春	豊岡 さゆり	小西 美希	志賀 和未	石垣 美季
奥埜 安里沙	山之口 友樹	大森 映里	上ノ山 浩介	荒木 直哉
埜平 雅俊	楠 一二三	向井 幸	山口 文嵩	杉山 佑也
下橋 美里	前田 智美	吉田 涼太		

順不同

住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要なため、異動届けを提出して頂く必要がございます。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上 『卒業生の方へ』をクリック
- ③『卒業生の方へ』のページ下にある『同窓会 「河泉会」』をクリック
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』に記載されている方法をご参照の上、メールアドレスまでご連絡ください。

河泉会の皆様へ

河泉会では年2回（1月・7月）広報誌を発行しています。広報誌に掲載する記事を会員の皆様から受け付けています。内容・字数には制限はありませんが、主に下記の内容を考えています。河泉会活動の活性化のためにも振るって投稿して下さい。

- ・ 学術的な内容
- ・ 紀行文
- ・ 河泉会活動に対する提言または意見
- ・ 勉強会案内
- ・ 医療に関するトピックス

《 連絡先 》

福本 竜太郎（医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課）
原稿の送信方法は福本まで直接メールでお願いします
連絡先：simpledeiika@gmail.com

河泉会ブログ案内

勉強会の案内や卒業生が企画する勉強会・定期的な理事会などブログでも更新していきたいと思えます。

河泉会 ウェブリブログ ×

検索

<http://41413452.at.webry.info/>

携帯電話では右のQRコードも使用可能です。



編集委員

新立 勇一（理学療法学科9期卒）	本道 大地（理学療法学専攻2期卒）
鶴井 明弘（理学療法学専攻4期卒）	福本 竜太郎（理学療法学専攻4期卒）
竹林 弘平（作業療法学専攻2期卒）	林 晃奈（言語聴覚学専攻4期卒）

発行責任者

河泉会会長：松田 洋平
（理学療法学科1期卒）